

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	明治学院大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	メイジガクインダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	教育発達学方法論(体験活動)A、教育発達学方法論(体験活動)B
	学部・研究科等名	心理学部教育発達学科
	担当教職員名・役職	小野昌彦(教授)、緒方明子(教授)、小林 潤一郎(教授)、鞍馬裕美(准教授)、杉山雅敏(助教)
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	142
	受入企業等数	142
	受入企業等名	横浜市教育委員会(横浜市内の公立小学校)
インターンシップの分類		6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 11.その他
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	地域の教育の現場(公立小学校)での体験活動
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	地域の教育の現場(公立小学校)において体験活動を行い、そこで感じた疑問や課題について自己研鑽や学科での討議、授業での討議を繰り返し、問題解決を図っていく。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 4.当該インターンシップは、必修科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1単位×2科目
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	2年次の学科科目における必修科目として、授業期間中における週1日の実際の教育現場での体験活動および問題解決のための討議を「教育発達学方法論」として実施している。本科目では、教育発達学の理論を教育現場での経験に結び付けて考えるとともに、現場経験の中から大学での学びのテーマを学生自らが発見し深めることを目的としている。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している 5.その他
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	横浜市教育委員会の講話
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	

要素③	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	学科教員の学校訪問のほか、体験活動先での課題を大学で相談し、学びを深める場(体験活動サポート室)を設けている
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	1年次の終わり(1月)に2日間、3コマのガイダンスを行い、体験活動の概要と注意事項を説明。また、3月に行われる受け入れ校の校長面接に備えての履歴書やアポイントの取り方などの指導、体験活動を終えた上級生の報告会参加等を実施。校長面接後、活動直前の4月の事前指導では、横浜市教育委員会指導主事の特別支援教育についての講話、ワークシート記入による目標設定も実施している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	体験活動日ごとに学生は「体験活動記録」を書くことが義務付けられており、春学期末と秋学期末の2回に分けて提出する。また、年間の体験活動終了後に、ワークシート記入による個人の振り返り、グループワークによる振り返りの共有とディスカッション、ディスカッションに基づくグループ発表による体験活動最終報告会を実施している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	学科教員による学校訪問を行い、学生の参観および受け入れ校との情報交換をしている。また「体験活動サポート室」を設置、学生の体験活動に関する様々な相談、サポート、指導を行っている。春学期、秋学期に各1回の、中間報告会も実施し、グループディスカッションや活動報告のほか、春学期は個人目標と学修視点の設定、秋学期はグループ学修発表を行っている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している 4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	受け入れ校の教員による学生の活動に対する評価(アンケート・所見)、大学における報告会時に提出させる学生ワークシート評価、学生自己評価(ルーブリック評価)を実施している。
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学期末に受け入れ校の学生活動に対する教員による評価(アンケート・所見)、大学における中間・最終報告会時に提出させる学生ワークシート、出席状況の評価を総合して成績評価(秀、優、良、可、不可)を実施している。学生自身は、自己評価(ルーブリック評価)を実施している。また、自己点検推進室による卒業時アンケート(卒業式終了後実施)においても教育効果確認を実施している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	30日間
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	1年次の終わりから2日間3コマのガイダンスの後、受け入れ校の校長面接を実施。2年次には24日間の体験活動および、事前指導1日、中間報告会を春学期・秋学期各1日、最終報告会1日を行う。	
6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい	

要素⑥	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	<p>1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している</p> <p>2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している</p> <p>3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている</p> <p>4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している</p> <p>5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している</p>
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	<p>本プログラムは、横浜市教育委員会と学科との話し合いにより設計されており、事前学習、事後学習においても関与していただいている。事前学習では指導主事講話、参加予定学生に対する校長面接を実施しており、事後学習においても学生の報告会に参加していただいている。体験終了後は受け入れ校に対しアンケートを実施、学生の体験活動の評価をいただいている。数値化された評価の分析も行い、学生の振り返りにも活用している。</p>
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://kyomu.meijigakuin.ac.jp/kyomu/UnSSOLoginControlFree
問い合わせ先	大学等名	明治学院大学
	担当部署名	キャリアセンター
	担当者役職名	次長
	担当者氏名	佐藤 純
	電話番号	03-5421-5162
	メールアドレス	satojun@mguad.meijigakuin.ac.jp